

偽メールによる フィッシング詐欺に注意!



【相談事例】

利用しているクレジットカード会社から「お客様情報の確認のお願い」というメールが届いた。不正利用が疑われる取引があるので、URLにアクセスして確認をするよう書かれていた。慌ててURLにアクセスして、求められるままクレジットカード番号や暗証番号などを入力した。その後不正利用されてしまった。

【アドバイス】

フィッシング詐欺とは、銀行や企業を装った偽のメールやSMS(ショートメッセージサービス)を送りつけ、偽のホームページにアクセスさせて、クレジットカードの情報を入力させ、盗み取った情報で買い物をされたり、キャッシングされてしまう詐欺です。

最近は偽メールが本物そっくりで、正規のお知らせと区別できないケースも見られます。日頃利用している事業者からのメールでも、まずフィッシング詐欺を疑いましょう。メールに記載されているURLにはアクセスせず、正規のサイトやアプリからアクセスしましょう。

クレジットカード番号やID、パスワードなどは、求められても安易に入力してはいけません。不審なサイトに情報を入力してしまった場合は、クレジットカード会社や金融機関などにすぐに連絡しましょう。また同じIDや暗証番号をほかの取引で使い回している場合は、すぐに変更しましょう。



偽メールに注意するワン!

IDや暗証番号は安易に入力しないワン!

